（賛助会員向け）

2023年度
米国における交通システムの先進事例調査
（自動運転・スマートシティ）

サンフランシスコ市　・　ポートランド市

【参加のご案内】

調査期間：2023年10月29(日)～11月4日(土)

【7日間】

トレジャーアイランド自動運転シャトルパイロット

【調査企画】

一般財団法人　道路新産業開発機構

【旅行企画・実施（お申込先）】

ティ・シィ・アイ・ジャパン株式会社

【観光庁長官登録旅行業第 1139 号（一社）日本旅行業協会 JATA 正会員】
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1－1－20　虎ノ門実業会館 3F

1. 調査の趣旨

近年、自動運転車両の実現に向けた実証実験や公道での走行試験、自動運転で活用するシステムや情報提供の技術開発が国内外で盛んになっている。米国のいくつかの都市では無人で走行するタクシー（ロボットタクシー）が実際に運用されている。また、米国では都市が抱える課題に対して ICT 技術を活用したスマートシティの取り組みや歩行者中心のウォーカブルな（歩きやすい）まちづくりが行われている。

本調査では米国におけるロボットタクシーの実運用の状況、モビリティーサービスを現地で視察するとともに、スマートシティ、ウォーカブルシティの状況を関係者からヒアリングを行い、日本における自動運転の実現、モビリティーサービスや新たなまちづくりなど今後の施策に活かすことを目的とする。

2. 調 査 期 間　２０２３年１０月２９日（日）　～　１１月４日（土）　７日間

3. 調　査　国　アメリカ合衆国

4. 調査訪問先　（訪問予定都市）

サンフランシスコ（カリフォルニア州）
ポートランド　　（オレゴン州）

5. 旅 行 代 金　お一人様　７８５，０００円（最小催行人員：１０名様）

募集人員：１５名様

6. 団　編　成　国、公益法人、自動運転関係企業等職員約 15 名程度で編成予定

日　程　表　（案）

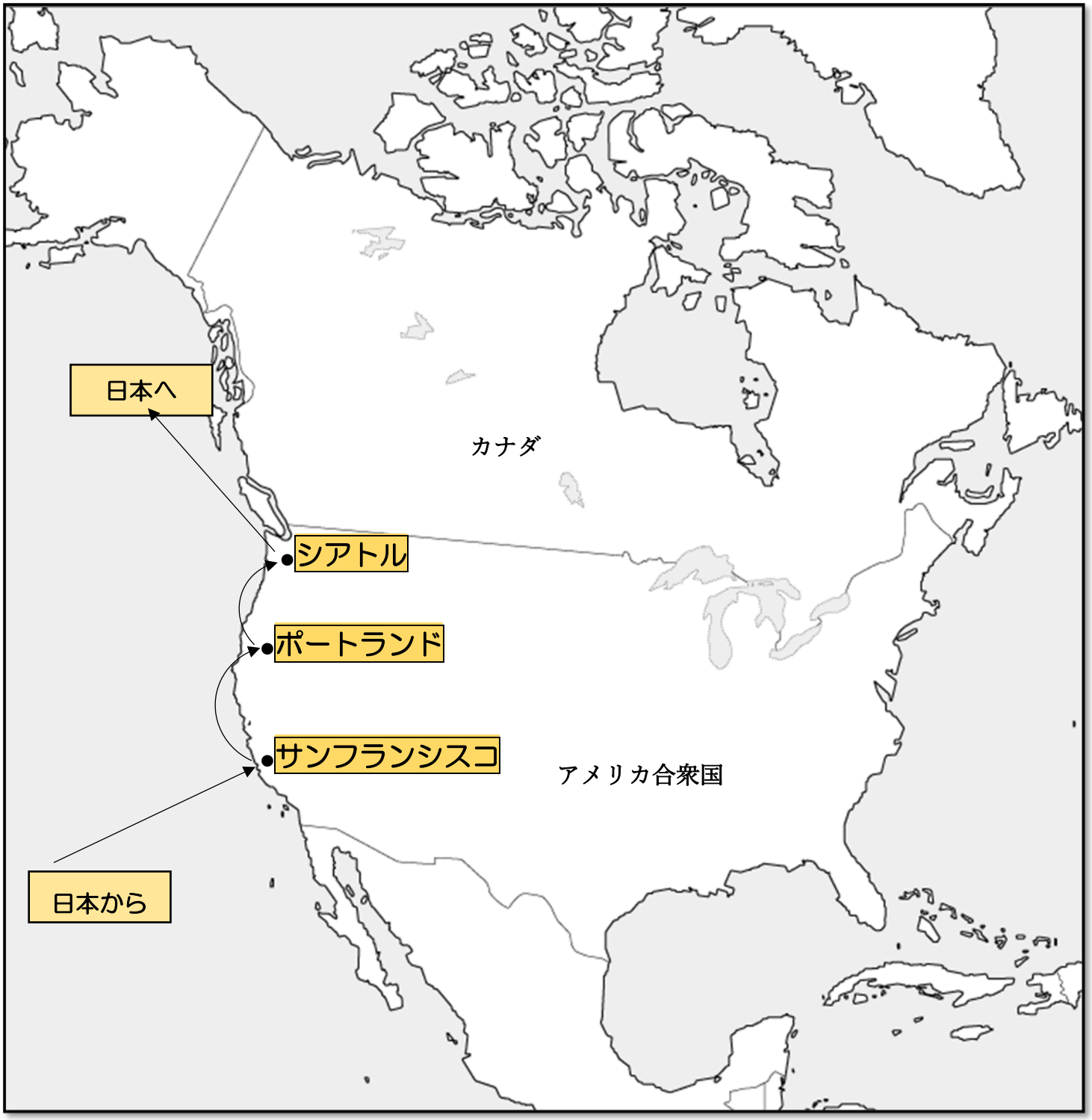
2023 年 8 月 10 日作成

日数	月　日	曜	都　市　名	現地時間（予定）	交通機関（所要時間）	摘　要
1	2023 年 10 月 29 日	日	東京（羽田 T3）　発 サンフランシスコ着 （時差－17h）	（15：00） 17：30 10：50	JL002 (9h20) 専用バス ガイド	羽田集合（午後 3 時） 日本航空にてサンフランシスコへ 着後、サンフランシスコ市内状況視察 夕方ホテルへ(17 時頃) （サンフランシスコ泊）
2	10 月 30 日	月	サンフランシスコ		専用バス 通訳	午前：市内道路事情視察 午後：Cruise 社訪問（13:00） ロボットタクシー（無人自動運転タクシー） について Cruise 体験乗車 （サンフランシスコ泊）
3	10 月 31 日	火	サンフランシスコ		専用バス 通訳	午前：サンフランシスコ市都市計画部局 訪問 スマートシティについて （DataSF オープンデータサービス等） 午後：トランスベイトランジットセンター 視察 （サンフランシスコ泊）
4	11 月 1 日	水	サンフランシスコ発 ポートランド着	18：40 20：26	専用バス ガイド AS1187 (1h46) 専用バス ガイド	午前： トレイジャーアイランドの自動運転 シャトルバス（ループ）の体験乗車 アラスカ航空にてポートランドへ 着後、ホテルへ （ポートランド泊）
5	11 月 2 日	木	ポートランド		専用バス 通訳 ガイド	午前：ポートランド市開発局等 （街づくり、道路政策等） 午後：ポートランド市内状況視察 （ポートランド泊）
6	11 月 3 日	金	ポートランド発 シアトル着 シアトル発	07：30 08：35 13：10	専用バス ガイド AS1455 (1h05) JL67 (11h25)	空港へ アラスカ航空にてシアトルへ 乗り継ぎ 日本航空にて帰国の途へ （機中泊）
7	11 月 4 日	土	東京（羽田 T３）着	16：35		着後、解散

この日程表は作成当日の最新の資料に基づいていますが、将来、運輸機関の運行スケジュールの改訂、その他の理由により予告なしに変更される場合もございます。

ご旅行行程図

航 空 機 ⟶



予定訪問先の概要

CRUISE社

Cruise 社はロボットタクシー（無人自動運転タクシー）をサンフランシスコ、フェニックスそしてオースティンで実用を行っている。

自動運転は日々進化を続け、ロボットタクシーは 3 都市でドライバーがいない完全自動運転で街中を走行している。開発状況や今後の取り組みについてヒアリングを行い、実際にロボットタクシーに体験乗車を予定している。

※Cruise 社の訪問の際、秘密保持契約および訪問者確認契約を結ぶことになります。
聞いた内容の非公開、写真撮影の制限など

サンフランシスコ市都市計画部局

カリフォルニア州サンフランシスコは、米国におけるスマートシティの先進事例の 1 つであり、都市部のデータをスマートシティへつなげる試みとしてデータの可視化とオープン化を進めている。同市では公共サービスの向上を目的として、行政情報のデータを無償で提供する「DataSF」とよばれるオープンデータサービスを提供している。

「DataSF」は、471 のデータセットが公開（2020 年 3 月時点）されており、データセットの分野は、市行政管理、地理情報から、交通、インフラ、住宅、文化、経済、エネルギーと環境、治安、健康と社会に至るまであらゆる分野に及んでいる。

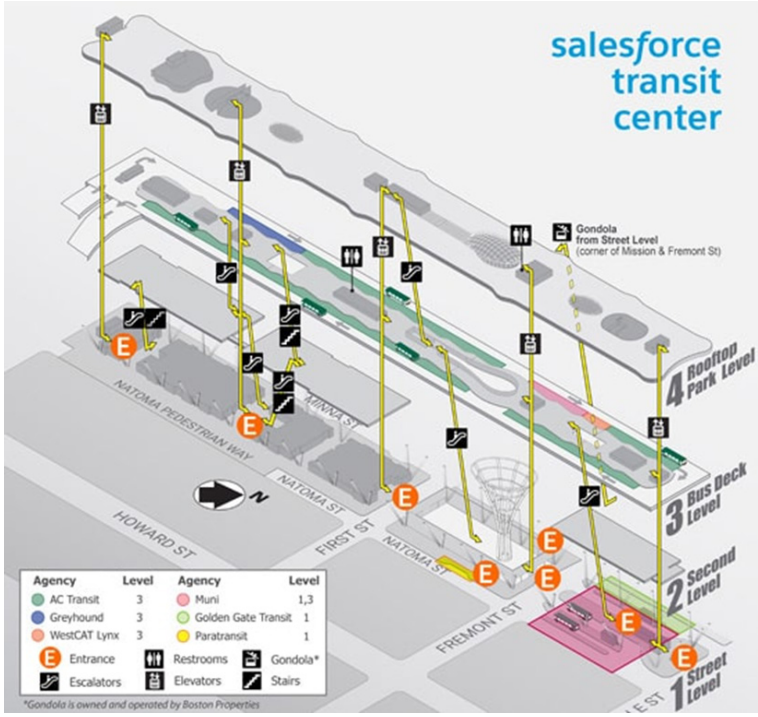
オープンデータをポータルサイトから発信することで、分析や研究、パフォーマンスの可視化、活動の評価、Web あるいはスマートフォンアプリの開発が進み、データ主導のエコシステムが発展する。「DataSF」のオープンデータ発信により、市民生活の質の向上、サービス提供の効率化、正しい判断、新規ビジネスの創出といった好循環が生まれることが期待されている。

公開された行政オープンデータの分析事例としては、乳幼児栄養プログラム、文化財保護、地価評価といった市の行政活動状況といった例が紹介されている。また、オープンデータを活用したアプリケーションとしては、市内のビルの 3 次元地図、住宅政策とデータ、土地情報などがある。交通に関する情報は、自動車の駐車場情報、バス停情報や自転車の駐輪場情報に至るまで、さまざまなデータを利活用。

トランスベイトランジットセンター

トランスベイトランジットセンター(正式にはスポンサーシップ目的の Salesforce トランジットセンター)は、サンフランシスコのダウンタウンにあるトランジットステーションです。サンフランシスコベイエリアの主要なバスターミナルとして、そして将来的には将来の鉄道ターミナルとして機能する可能性があります。トランジットセンターは、長さ 1,430 フィート(440 m)、地上 4 階の建物です。

1 階は路線バスと食堂
2 階は商業施設、フィットネスジム、バスチケットセンター
3 階はバス発着場所
4 階は公園



トレイジャーアイランド自動運転シャトルバス

トレジャーアイランド自動運転シャトルパイロット

概要

トレジャー・アイランドでは自動運転シャトル・サービスを試験的に導入する準備を進めています。ロボット車両とも呼ばれる自動運転車は、人間の関与がほとんど、又は全くなくても自動で運転できます。

ループと呼ばれる完全電気自動運転シャトルパイロットは、カリフォルニア州の公道で一般の人々を輸送する AV シャトルの最初のデモンストレーションの 1 つとなり、トレジャーアイランドの固定ルートに沿って 9 か月間（2023 年 7 月下旬～2024 年 4 月）運行されます。この乗り物はミュニの 25 宝島線を補完するもので、一般公開されており、車両には常時係員が同乗します。

パイロットに関するフィードバックを収集するためにコミュニティと連携する取り組みが継続的に行われます。また、試験期間を通じて地元の労働力、企業をサポートするためのパートナーシップの確立にも取り組んでいきます。

ポートランド市開発局（PDC）

「全米一住みよいまち」にも選ばれているポートランドは、車中心のまちづくりから歩行者中心の「歩きやすいまち」「歩きたくなるまち」を目指したまちづくりを進めている。

ポートランドの中心街は東西1.5km、南北3.5kmと歩いて「20分の街」である。
公共交通機関はストリートカー(路面電車)とMAXライトレール(郊外と結ぶ)、バス路線などがあり、中心部への自家用車の通行やタクシーの乗り入れが制限されていて、クルマが本当に少ないことに驚く。ポートランドは土地利用の効率化と集約化が進み、90年代、中心部の人口増加率26%に対し、宅地面積は8%の上昇にとどまり、公共交通の利用は5～10倍、徒歩は3倍、クルマの移動・所有も半減した。

このコンパクトシティへの取り組みは、1973年の土地利用法に始まった。1978年に住民投票で全米初のオレゴン州を含むメトロポリタン地区(25市3郡)の広域行政府「メトロ」が設立され、1992年に都市の骨格となる50年後のビジョン「リージョン2040」を制定して、成果を上げてきた。中でも注目されるのが、政策を実行してきたポートランド市開発局（PDC）の存在である。

PDCは、未利用遊休地や空き物件を買い取り、信頼のおけるデベロッパーに開発協力を求め、オフィスビルや商業施設のテナント・リーシングにも的確な事業者を誘致してきた。政策的に必要なテナントには家賃の一部を補填するなど、事業リスクにも耐えうる高度な専門性をもって、絶大な指導力を発揮している。ポートランドの街区は、1ブロック(一辺)の長さが61mと短く、米国で一般的な122mの半分で、道路幅も20mと狭い。これは1マイル(1.6km)を20で割って、道路と合わせて1辺80mとしたもので、極めてユニークな都市計画である。したがって、心理的に歩く速度はゆっくりとなり、路地や、看板・ショーウィンドウ、すれ違う人にも目線が行きやすい。両側の建物の高さも道路幅との比率から10m、建物は2層が基本だ。また、1階部分は店舗や飲食店、カフェとなっているため(街区によっては義務)、道行く人とのアイコンタクトが生まれやすい。

参加募集要項詳細

旅行代金　：　お一人様　785，000円（催行人員：１０名様）募集人員：１５名様

注記）定員を越えた場合には、先着順など調整させていただく場合があります。

申込締切日：　2023 年 9 月 15 日（金）

【旅行代金に含まれるもの】

交通機関の費用：旅行日程に記載の航空運賃（エコノミークラス）
（国内空港施設使用料、米国空港税、航空保険・燃油サービス料金等含む）利用予定航空会社：日本航空（日本発着）
現地移動交通費：旅行日程に記載の移動及び調査のための専用バス料金
宿泊料金：各都市におけるホテルの**2 人室に 2 人様宛**
（利用予定ホテル：サンフランシスコ/HOTEL SPERO SAN FRANCISCO　ポートランド/ COURTYARD BY MARRIOTT PORTLAND CITY CENTER　又は 同等クラスホテル）
食事料金：朝食５回、昼食５回、夕食５回　（機内食除く）
通訳料金：公式訪問の際の専門通訳料金
添乗員経費：全行程にわたり、添乗員がお世話致します。
旅行特別補償保険料：死亡 2,500 万円（死亡・後遺障害の場合のみ）
その他：団体行動中のチップ・公式訪問先謝礼　等

【旅行代金に含まれないもの】

一人部屋追加費用：105,000円　（5泊）
旅券取得費用：旅券印紙代（5 年用 11,000 円・10 年用 16,000 円）※旅券新規取得者
個人的費用：飲物代、クリーニング代、電話電報代、超過手荷物料金、
その他：任意の旅行保険料、その他の個人的性質のもの
日本国内移動交通費：（事前講習会参加交通費・ご自宅/空港間の移動交通費・別途日本国内線割引運賃有）
航空便ビジネスクラス席利用追加料金：お問い合わせ願います。　（予約時でのビジネス追加運賃になります。）航空便プレミアムエコノミークラス席利用追加料金：お問い合わせ願います。（予約時でのプレミアムエコノミークラス追加運賃になります。）

お問い合わせ先　一般財団法人 道路新産業開発機構
〒112-0014　東京都文京区関口 1-23-6（プラザ江戸川橋ビル 2 階）
TEL：（０３）５８４３－２９１１（代表）
FAX：（０３）５８４３－２９００
担当：国際調整室　中村　徹

旅行に関する問い合わせ先・お申し込み先
ティ・シィ・アイ・ジャパン株式会社
（観光庁長官登録旅行業第 1139 号）〈㈳日本旅行業協会（JATA）正会員〉
〒105-0001　東京都港区虎ノ門 1-1-20 虎ノ門実業会館３階
TEL：（０３）３５８０－６３１１（代）
総合旅行業務取扱管理者　荻原一朗
お申し込み先メールアドレス：ogihara@tcijapan.co.jp
お申し込み先 FAX：（０３）３５９２－１８５３
担当：荻原、渡辺、小林

ご旅行条件(要旨)

- **募集型企画旅行契約**

（１）この旅行は、ティ・シィ・アイ・ジャパン㈱観光庁長官登録一般旅行業 1139 号（以下「当社」といいます）が募集する企画旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行を締結することになります。

（２）募集型企画旅行の内容・条件は、当パンプレット以外に、契約月日による募集型企画旅行約款に基づく契約書、及び出発前にお渡しする旅行確定書面によります。

《　旅行のお申し込み方法　》

所定の旅行申し込み用紙に所定の事項を記入し、下記旅行会社宛ご郵送又はファックス送信・メール送信でも受付させて頂きます。申込書受領後、渡航に関するご案内と申込金（５万円）請求書又は旅行代金一括請求書（ご希望の場合）を送付致します。

- **旅行契約の成立時期**

お客様との旅行契約については、当社が契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。但し、当企画旅行契約においては、指定期日までに旅費全額一括お支払いご希望の場合は、申込金の支払いを受けなくても契約の締結を承諾することがあります。（お問い合わせ下さい）

- **旅行代金のお支払い**

旅行代金は、出発日の前日から起算して 30 日前までに、残金（申し込み金を差し引いた金額）又は全額をお支払い頂きます。残金を受理後、速やかに最終旅行確定書面（更に詳しい旅行条件書）を発行させて頂きます。

- **お客様からの旅行契約の解除**

お客様は、いつでも次に定める取消料(お１人様につき)をお支払いいただくことにより、旅行契約を解除することができます。この場合、既に収受している旅行代金　（あるいは申込金）
から所定の取消料を差し引き払い戻し致します。申込金のみで取消料に不足する場合は、その差額を申し受けます。

旅行出発の前日より起算して次の取消料を申し受けます。

☆ 旅行開始日の前日から起算して 出発の 31 日前迄…… 無料
☆ 旅行開始日の前日から起算して 30 日前～21 日前迄 …… 5 万円
☆ 旅行開始日の前日から起算して 20 日前～3 日前迄 …… 旅行代金の 20%
☆ 旅行開始日の前日から起算して 2 日前から当日迄…… 旅行代金の 50%
☆ 旅行開始後又は無連絡不参加の場合…… 旅行代金の 100%

- **特別補償**　詳細は後日お送りする「条件書」をご参照下さい。
- **旅程保証**
- **当社による旅行契約の解除　(旅行開始前)**

当社は次に揚げる場合において、旅行契約を解除することがあります。

（１）お客様が病気その他の事由により、当該旅行に耐えられないと認められたとき。

（２）お客様がその他のお客様に迷惑を及ぼし又は団体旅行の円滑な実地を妨げる恐れがあると認められとき。

（３）参加者の数がパンフレット等に記載した最少催行人員に達していなかったとき。この場合は旅行開始日の前日から起算してさかのぼって 24 日目に当たる日より前に旅行を中止する旨を通知します。

（４）天災地変、戦乱、運輸機関等における争議行為、官公署の命令その他の当社で管理できない事由によりパンフレット等に記載した旅行日程に従った旅行の安全かつ円滑な実地が不可能となり、又は不可能となる恐れが極めて大きいとき。

- **ご旅行条件・ご旅行代金の基準**

この旅行条件は、2023 年 8 月 7 日を基準としています。また、旅行代金は 2023 年 8 月 7 日現在有効な運賃を基準として算出しています。

参　加　申　込　書

2023年度 米国における交通システムの先進事例調査

＊記入事項に基づいて、ご渡航に必要な書類を作成
いたしますので、わかりやすく楷書でご記入下さい。
送付先FAX番号：０３－３５９２－１８５３
送付先メール：ogihara@tcijapan.co.jp
ご出発日：2023年10月29日（日）

【申込書送付先】
ティ・シィ・アイ・ジャパン株式会社
〒105-0001　東京都港区虎ノ門1-1-20
虎ノ門実業会館３階
TEL：03-3580-6311　FAX：03-3592-1853

フリガナ 氏　名		性別	男　・　女	婚姻暦	既婚・未婚
生年月日	昭　和 年　月　日（西暦　年） 平　成　年齢　才	本籍地	都道府県	出生地	都道府県
フリガナ 現住所	〒	電話			

勤務先 注）英文名称等指定のある場合はご記入下さい。	和文	名称 部課名 役職名			
	英文	名称 部課名 役職名			
	住所	〒		TEL	
				FAX	
				携帯	
	e-mail:　@				
	担当者		部課名	TEL	
				FAX	

渡航中の連絡先	住所　〒　1．現住所と同じ 2．	電話	
		携帯	
	氏名	続柄	

旅券について 2024年5月4日以降まで有効な旅券が必要	□旅券番号	□発行年月日　年　月　日
	□旅券記載のお名前アルファベット表記	
	パスポートをお持ちの方はコピー（お写真のページ）もお送り下さい。	
	□現在申請中　受領予定日　年　月　日	
	□持っていない　近日中に弊社より旅券取得のためのご案内をお送り致します。	

国内線利用希望の有無 （乗り継ぎ便・特別割引運賃摘要条件適用）［別途料金］ ＊有りの方は希望出発地に〇印をお付け下さい	有　・　無 札幌・名古屋・大阪・福岡・沖縄・その他（　）
１人部屋追加料金（５泊）希望の有無（１０５，０００円）	有　・　無
同室者希望の有無（同室相手の指定がある方のみご記入下さい）	相手の方のお名前：
ビジネスクラス又はプレミアエコノミークラス利用どちらかに〇印をお付け下さい。 希望がない場合はエコノミークラス（追加代金無）となります。	ビジネスクラス　・　プレミアエコノミークラス ※（日本発着便の利用となります。）現況での追加料金となります。

（個人情報の取扱について）ご記入頂きました個人情報につきましては、旅行取扱のティ・シィ・アイ・ジャパン㈱がご旅行に関わる手配業務に利用致します。（航空機、ホテル手配、出入国書類作成、査証代理申請、緊急連絡先確認等）これら目的以外に無断で利用することはありません。尚、ご提出頂きました個人情報は弊社にて厳重に管理いたします。